

建設経済部 目標

【概要】

建設経済部は、都市政策課・管理課・建設課・農林水産課・商工観光課の5課で構成し、適正な土地利用の誘導、道路・橋りょう及び水路の管理・補修及び整備、市営住宅、農林水産業、商工業及び観光、労政に関する施策に取り組んでいます。

建設経済部の目標（平成28年度）	建設経済部長 宮崎 一行
<p>【基本方向】</p> <p>市民生活や経済活動にとって重要な都市基盤の整備と維持管理を、効果的、効率的に行うことで、市民が今後も住み続けたいと感じられるような魅力あるまちづくりを推進します。</p> <p>また、自然環境を配慮した農林水産業と活気に満ちた商業や工業の発展。観光資源等を発掘し、市の魅力づくりを推進します。</p>	
<p>【達成すべき目標】</p> <p>1 富津市経営改革プランに掲載された各事業の見直し</p> <p>都市計画事業等の見直し、施設利用振興公社のあり方の検討、普通建設事業の見直しを行う。</p> <p>2 地籍調査事業</p> <p>国の補助金制度の研究や近隣市町の実施状況・方法等を調査し、事業の実施期間及び事業費の精査を行う。</p> <p>3 商工業・観光業の推進</p> <p>商工業者に対する創業・運転資金等援助や事業主への個別相談及びセミナー等を実施し、スキルアップを図る。</p>	<p>【目標の達成度】</p> <p>1 富津市経営改革プランに掲載された各事業の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画事業等の見直し 進捗は予定通り、都市計画道路の見直し調査を実施した。 ・施設利用振興公社のあり方の検討 施設利用振興公社の事務局長と協議を重ね、指定管理に向けた問題の洗い出しや今後の手法を検討中。 ・普通建設事業の見直し 庁舎及び大貫駅周辺整備事業と浅間山関連事業を1つのパッケージとし、各事業間の事業費が動かせるようにするとともに、交付率のよい道路事業に乗換えた。 <p>2 地籍調査事業</p> <p>富津市地籍調査推進委員会と会議を3回開催し、平成29年度事業計画作成に向けた協議を実施した。また、平成29年度からは、都市政策課に地籍調査の係を設け専任で事業を行う。</p> <p>3 商工業・観光業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規創業者に対する支援措置として、国から創業支援事業計画の認定を12月に受け、来年度から創業者への税制面等の支援対

<p>また、関係団体との連携による外国人・スポーツ目的等の観光客受け入れ態勢の充実を図る。</p> <p>4 農林水産業の多様な担い手の育成、確保 関係機関、団体と連携し、認定農業者等、経営感覚に優れた農林漁業の担い手の育成・確保、法人化の促進を図る。 また、新規就業者や他産業からの離職就業者への就業相談等の実施や農林漁業技術習得の促進を図る。</p>	<p>策が確立できた。また、創業者向けの個別相談窓口を木更津・君津・富津合同で9月から開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本年度から市が富津市観光協会に依頼し、第2次観光立県ちば推進基本計画に基づく「ちばおもてなし宣言」を行い、観光客に対する「おもてなし力」を向上させた。 <p>4 農林水産業の多様な担い手の育成、確保 認定新規就農者1名増、認定農業者1経営体増で目標を達成できなかった。ノリ共同加工施設は1施設稼動することができた。</p>
---	--

都市政策課 目標

【概要】

都市政策課は、建設政策係・建築住宅係の2係11名で構成し、適正な土地利用の誘導、建築行政、市営住宅の管理に取り組んでいます。

都市政策課の目標（平成28年度）	都市政策課長 中山 正之
<p>【基本方向】</p> <p>市民が暮らしやすい都市の実現を目指して、都市計画を定めるとともに、都市計画、開発、建築行政等に関する情報を市民に適時、的確に提供します。また、公園、市営住宅を適切に維持管理し、公共建築物の営繕業務を的確に実施します。</p>	
<p>【達成すべき目標】</p> <p>1 (仮称) ふつつターミナルアンドショッピング計画の推進 地権者、県、関係機関、庁内調整を行い、地区計画の都市計画決定を行うことで計画を推進する。</p> <p>2 富津市耐震改修促進計画の改定 対象建築物の建築年度や建築物の範囲について見直しを行う等、地震被害の軽減を図るため改定する。</p> <p>3 富津市都市計画マスタープランの改定及び都市計画道路見直し調査 都市計画マスタープランについて、市民説明会、パブリックコメント手続き、都市計画審議会等を経て改定する。 都市計画道路の見直し調査を実施し、見直しの方向性を検討する。</p> <p>4 施設利用振興公社のあり方の検討 庁内関係各課協議を行い、継続、縮小、廃止等、今後の方向性を検討する。</p>	<p>【目標の達成度】</p> <p>1 (仮称) ふつつターミナルアンドショッピング計画の推進 社会情勢の変化により、民間開発計画に遅延が生じており、該当する地区計画の都市計画決定に至らなかった。</p> <p>2 富津市耐震改修促進計画の改定 住宅耐震化率を95%と定め、促進計画の改定を行った。 地震被害の軽減を図るため、対象建築物の建築年を平成12年5月まで拡大した。</p> <p>3 富津市都市計画マスタープランの改定及び都市計画道路見直し調査 都市計画マスタープランについては、パブリックコメント、都市計画審議会等を経て改定を行った。 都市計画道路については、見直し調査を実施した。</p> <p>4 施設利用振興公社のあり方の検討 指定管理者の選定方法の違いによるメリット、デメリットを検証するため、類似団体にアンケート調査を実施した。事業仕分けを踏まえ今後の手法を検討中。</p>

管理課 目標

【概要】

管理課は、管理第一係・管理第二係・補修第一係・補修第二係（天羽地区）の4係17名で構成し、道路・橋梁・水路の管理・その他、公共土木施設の維持管理に取り組んでいます。

管理課の目標（平成28年度）	管理課長 荒井 晃
<p>【基本方向】 すべての人が道路・橋梁を安心・安全で快適に利用できるよう適正な管理を行うことで常時良好な状態に保ち、利用者に対し、安心・安全で快適に通行できる環境を提供します。</p>	
<p>【達成すべき目標】</p> <p>1 橋梁長寿命化修繕事業の着実な推進・計画橋梁の着実な点検 平成30年度橋梁長寿命計画書策定見直しに伴い橋長10m以下の橋梁35橋について職員を研修会等に積極的に参加させ知識の向上をはかり職員点検を実施する。</p> <p>2 各区長からの要望書等への対応 区長からの要望事項に対し現地調査・確認を実施し関係部局との会議や打合せを実施し早急な対応、措置ができるよう連携を図る。</p> <p>3 境界確定業務に精通した職員の育成 市が管理する道路・水路の境界業務に対して関係機関開催の研修会および公嘱協会委託箇所へ職員を積極的に参加させることにより知識の向上や経験を積み、境界業務に精通する人材の育成を図る。</p> <p>4 地籍調査事業の推進 再調査箇所(平成21.22年度分)の進捗状況と未確定箇所の問題点を抽出し対応策の検討を実施し筆界未定箇所の減少を図る。</p>	<p>【目標の達成度】</p> <p>1 橋梁長寿命化修繕事業の着実な推進・計画橋梁の着実な点検 橋梁点検研修に3名参加し、知識、技術の向上を図った。 予定していた職員点検橋梁数については、平成29年度の交付金決定額によっては、委託点検に充てることのできるため、9橋の実施とした。</p> <p>2 各区長からの要望書等への対応 今年度の要望件数738件に対し、625件(84.7%)に対応した。要望内容により現地調査の段階から、建設課等関係部署と調査、検討、協議を行なうなどの連携を図り、緊急的な対応箇所については、概ね対応できた。</p> <p>3 境界確定業務に精通した職員の育成 境界確定業務の研修会に参加するとともに、代行業務での立会に同行し土地家屋調査士の説明を受け、知識の向上を図り、職員の立会を実施し、経験を積むことにより、境界確定業務に精通する人材の育成が図れた。</p> <p>4 地籍調査事業の推進 再調査箇所(平成21.22年度分)について、未確定箇所の問題点を検証したが、筆界未定箇所の減少を図るまでには至らなかったため、引き続き減少するよう取り組むこととする。</p>

建設課 目標

【概要】

建設課は、工務係・用地係の2係8名で構成し、道路・橋りょう等の新設及び改良事業に取り組んでいます。

建設課の目標（平成28年度）	建設課長 刈込 利雄
【基本方向】 利用者が、より良い環境で安全に利用できる道路・橋りょう等の施設整備を効率的に行います。	
【達成すべき目標】 1 市道諸崩線道路改良事業の推進 市道諸崩線道路改良工事について、現場精査を徹底し、実施諸条件を把握しながら、平成29年3月の完成を目指す。 2 市道山王下飯野線道路改良事業の推進 市道山王下飯野線道路改良事業について、用地取得と登記関係の完了を行うことと、併せて現場精査を徹底し、実施諸条件を把握しながら、平成29年3月達成予定分までを実施する。 3 市道下飯野線道路改良事業の推進 市道下飯野線道路改良事業について、用地取得と登記関係の完了を行うことと、併せて現場精査を徹底し、実施諸条件を把握しながら、平成29年3月達成予定分までを実施する。 4 大貫駅東口広場整備事業の推進 大貫駅東口広場整備工事について、現場精査を徹底し、実施諸条件を把握し、地元及び関係機関との協議調整をしながら、平成29年3月の完成を目指す。 5 バスストップ駐車場整備事業の用地測量の推進 バスストップ駐車場整備事業について、平	【目標の達成度】 1 市道諸崩線道路改良事業の推進 市道諸崩線道路改良工事は、平成24年度に着手し、平成29年3月をもって完成した。 2 市道山王下飯野線道路改良事業の推進 市道山王下飯野線道路改良事業について、平成29年3月までに達成予定であった区間の用地取得等が完了までに至らず、現在も交渉中である。工事等については平成29年3月達成予定分まで実施して完了している。 3 市道下飯野線道路改良事業の推進 市道下飯野線道路改良事業について、平成29年3月までに達成予定であった用地取得等が完了までに至らず、現在も交渉中である。工事については平成29年3月達成予定分まで実施して完了している。 4 大貫駅東口広場整備事業の推進 大貫駅東口広場整備工事について、平成29年3月をもって完成した。 5 バスストップ駐車場整備事業の用地測量の推進 バスストップ駐車場整備事業について、用

<p>成28年度事業として用地測量までの実施を予定しており、そのための境界等を確定し、関係地権者に可能な範囲で事前説明を実施し、現場精査を徹底し、実施諸条件を把握し、地元及び関係機関との協議調整をしながら、平成29年3月までに完成を目指す。</p>	<p>地測量に伴う境界等の立会及び現地踏査を実施し、併せて関係地権者へ事業概要の説明を行った。また、地元及び関係機関との協議調整を行い、平成29年3月までに用地測量を完成した。</p>
<p>6 館山自動車道4車線化事業とバスストップ整備事業の推進</p> <p>館山自動車道4車線化事業について、ネクスコと県及び地元住民との連絡調整を密に行うことと、バスストップの設置についてネクスコに委託している事業を何れも平成30年度までに完成させることを念頭に、平成28年度予定分を実施する。</p>	<p>6 館山自動車道4車線化事業とバスストップ整備事業の推進</p> <p>館山自動車道4車線化事業について、ネクスコと県及び地元住民との連絡調整は、密に実施することができた。</p> <p>また、バスストップの設置について、ネクスコに委託している事業を平成29年3月予定分まで実施した。</p>

農林水産課 目標

【概要】

農林水産課は、農政係・農業振興係・水産係の3係16名で構成し、農林水産業の振興、農業経営、農業の産業化、鳥獣による農林水産業の被害防止、農山漁村の振興、農林水産業施設整備及び維持管理に取り組んでいます。

農林水産課の目標（平成28年度）	農林水産課長 茂木 雅宏
【基本方向】 農林水産業の発展と農山漁村の振興及び農林水産業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための事業を推進します。	
【達成すべき目標】 1 農林水産業の多様な担い手の育成、確保 関係機関、団体と連携し、認定農業者等経営感覚に優れた農林漁業の担い手の育成・確保、法人化の促進及び新規就業者や他産業からの離職就業者への就業相談等の実施や農林漁業技術習得の促進を図り、認定新規就農者、認定農業者の増加及びノリ共同加工施設を建設し稼働する。 2 有害鳥獣対策 富津市有害鳥獣対策協議会による有害鳥獣捕獲事業、防止柵設置事業を支援し、農作物被害対策を実施し、有害鳥獣の捕獲（イノシシ 3,000頭、サル250頭、シカ 250頭）及び侵入防止柵の設置（電気柵 20,000m、物理柵 2,000m）を行う。 3 急性悪性家畜伝染病対策の体制整備 部局横断的な組織を検討し、急性悪性家畜伝染病対策本部設置要綱を策定する。 4 漁港施設、漁場施設機能保全計画の策定 国の水産物供給基盤機能保全事業を活用	【目標の達成度】 1 農林水産業の多様な担い手の育成、確保 平成29年1月現在は認定農業者が1経営体増、認定新規就農者は増減無しとなっているが、認定農業者は家族経営協定によって2名の女性農家が認定となり、認定新規就農者も1名が審査会待ちとなっている。また、ノリ共同加工施設も12月から稼働している。 2 有害鳥獣対策 有害鳥獣の捕獲状況イノシシ 3,126頭、サル 77頭、シカ 341頭（平成29年2月28日現在）侵入防止柵については、総延長31,679m設置を行いました。 3 急性悪性家畜伝染病対策の体制整備 急性悪性家畜伝染病対策の部局横断的な組織を検討に期間を要するために、急性悪性家畜伝染病対策本部設置要綱を策定するまで至らなかった。 4 漁港施設、漁場施設機能保全計画の策定 平成28年度は計画策定のための詳細調査

し、大貫漁港、竹岡漁港、萩生漁港、金谷漁港を対象に平成29年度末までに策定する。平成28年度は、計画策定のための詳細調査等を実施する。

等を実施した。

商工観光課 目標

【概要】

商工観光課は、商工観光係 1 係 5 名で構成し、商工業の振興や観光振興に係る主要な施策に取り組んでいます。

商工観光課の目標（平成28年度）	商工観光課長 平野 勉
<p>【基本方向】 商工業振興の充実や観光宣伝等の充実を図り、広域連携による観光事業の促進や観光資源を有効利用した地域の活性化を推進します。</p>	
<p>【達成すべき目標】</p> <p>1 市内の中小企業の支援 運転資金、設備資金、特別小口資金の融資及びこれに伴う利子補給融資限度額及び利子補給に係る予算額の範囲内とし、中小企業信用保険法、富津市中小企業資金融資条例及び富津市中小企業資金融資利子補給金交付要綱に基づき、市民に対して資金融資等に関する周知措置を行い、随時実施することを目標とする。</p> <p>2 広域連携等による観光客の誘致 平成 27 年度の主要観光施設入込数は、2, 146 千人であり、総合戦略では、平成 31 年度までに 2, 800 千人としているため、様々な情報媒体を活用し、県内県外に対しての観光PRを行い、本年度の目標は、2, 278 千人として、132 千人増加を目標とする。</p> <p>3 観光施設（指定管理施設等）の事業運営の見直し 高宕山自然動物園及び温泉事業については、関係課等と協議調整し、継続・廃止及び規模縮小等の方針決定を目標とする。</p>	<p>【目標の達成度】</p> <p>1 市内の中小企業の支援 融資制度の広報周知やHP周知を4月・12月・3月に行った。4月～1月末現在で、資金融資については、前年度対比で（△18件・△78, 125, 000円）、利子補給については、（12件・△362, 644円）のため、目標は下回る見込みである。</p> <p>2 広域連携等による観光客の誘致 F a c e b o o kにより、月1回以上観光案内を更新し、その他の観光PRも行い、情報発信した。4月～12月末現在での市内観光客の入込数は、1, 862千人（前年1, 742千人）で前年比90千人の増加であるが、総合戦略での目標値と比較すると、82%の達成率のため、目標は下回る見込みである。</p> <p>3 観光施設（指定管理施設等）の事業運営の見直し 高宕山自然動物園業務委託（DNA鑑定）により、純粋種の個体識別が行えており、適正規模の施設で個体数管理するための検討を進めている。 温泉事業については、関係者と協議・検討を行った結果、抜本的な施設整備は困難であるが、当面は施設運営する方針が決定している。</p>

4 職場ミーティングの開催

課内職員が、部課内の主要事業、重点目標を理解し、共通した認識を持ち、個々の目標についての進行管理を行うため、定期的な課内会議を随時実施することを目標とする。

4 職場ミーティングの開催

10月～1月までの間、毎月ミーティング又は面接を実施したことで、課員各々の目標管理シート及び事務事業の進捗状況を共通認識できた。また、各課員の進行管理を実施することができた。